

資料－3
平成20年9月24日
環境監視委員会水環境WG

「観測櫓付着生物調査」の状況報告

平成20年9月

国土交通省関東地方整備局

国土交通省東京航空局

「観測櫓付着生物調査」の状況報告

第3回水環境WG（平成20年5月7日開催）において、D滑走路建設工事は、多摩川河口という東京湾の水環境を考える上で重要な地点での工事であることから、発注者として、環境調査の充実を図ることとした。

このうち、〔2ヶ月毎の対応〕として観測櫓を活用した生物詳細調査の状況について報告する。

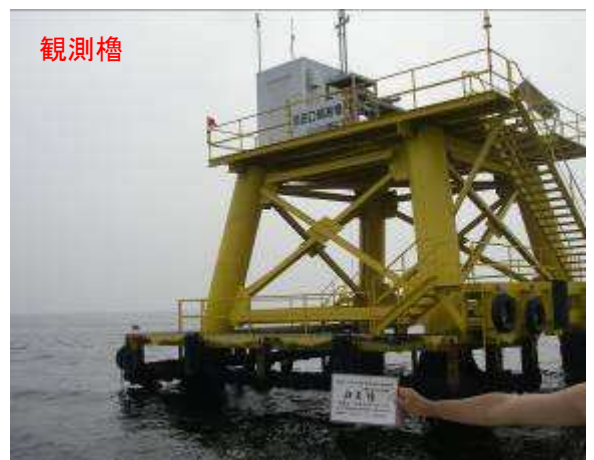
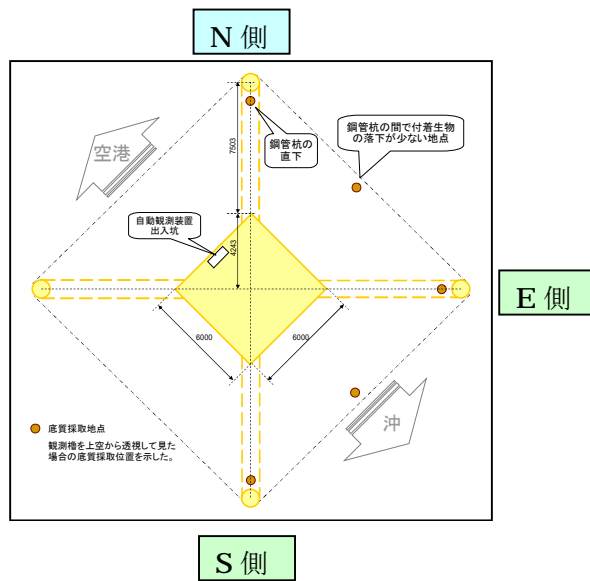
調査内容は、観測櫓の付着生物についてダイバーによる目視確認及び写真撮影を実施し、生物相を把握するものである。平成20年7月15日に実施した第1回調査の結果を取りまとめた。

東京国際空港観測櫓付着生物採取等調査 7月調査速報

調査日

平成20年7月15日(火) 7:30~14:00

調査位置



気象・海象

調査点	N側杭(空港側)	E側	S側(沖側)
調査時間	9:30-10:20	10:53-11:45	12:05-12:55
天気	晴れ	晴れ	晴れ
雲量	7	7	7
気温(°C)	27.3	28.8	29.0
風向	NE	NE	E
風速(m/s)	5.0	4.3	4.2
潮位	50	68	116
風浪階級	3	3	2
波向	NE	NE	E
波高(m)	1.0	1.0	0.7
汚濁負荷源 (青潮・赤潮・航行船舶・操業)	赤潮	赤潮	赤潮

・水深0m~2m付近までは赤潮が発生しており目視での確認範囲は30~50cm程度であった。

作業状況写真



付着生物目視観察結果

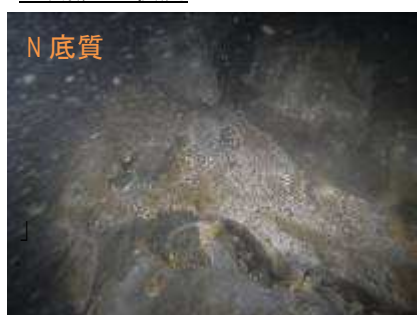
- ・ 観察・採取箇所は、全ての測線において杭の北側とした。

種名	N								E								S							
	0m	2m	4m	6m	10m	15m	20m	底付近	0m	2m	4m	6m	10m	15m	20m	底付近	0m	2m	4m	6m	10m	15m	20m	底付近
尋常海綿綱																			+					
ヒドロ虫綱	+	+	+						+	+	+								+	5	+			
イソギンチャク目	+	80	+	70	10	40				10	80	80	+	40	+				10	30	10		20	
ムラサキガイ	100	100	5	100					100	100	100	100							100	100	100	100	+	
カンザシゴカイ科			20	+	80	80	10	5				+	50	40	+	+					+	80	10	5
ヨーロッパフジツボ	+								+	+									+					
イッカククモガニ												(1)												(1)
キヒトデ	(8)				(1)	(8)		(1)		(2)			(2)						(6)					
カタユレイボヤ				5	40	+							60		+				+	15	95	+	+	+
シロボヤ													+						+	+		+		
泥質枝状物質			60		50	50	95	95					50	50	95	100						10	95	90

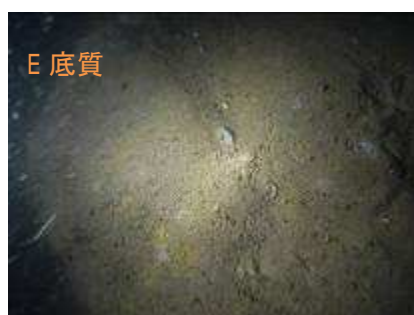
注) 表中の数値は、各調査箇所における被度(%)を示す。また、()内の数値は各調査箇所における移動性種の個体数を示す。

- ・ 水深約 0m～約 6m までは、ムラサキガイが群生していた。
- ・ 水深約 6m～約 10m までは、カタユレイボヤやカンザシゴカイ科が主にみられた。
- ・ 水深約 10m 以深からは、カンザシゴカイ科が優占し、海底付近では、泥質の枝状物質が多くみられた。
- ・ 水深 0m～底面上までの間に、キヒトデやイッカククモガニなどの移動性動物も確認されことから、調査中においては無酸素状態ではないと考えられた。
- ・ ミズクラゲのポリプについては、目視では群集は確認できなかった。
- ・ 底泥上には、バクテリアが泥上を覆っているのがみられた。また、杭直下と杭間の底泥に大きな差異は確認されず、ムラサキガイの貝片がパッチ上に点在していた。

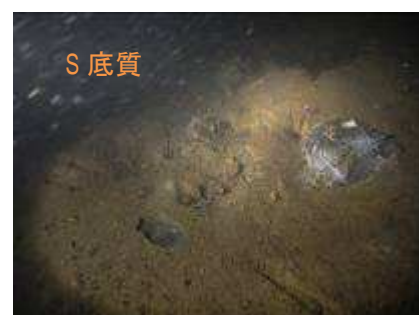
底泥の状況



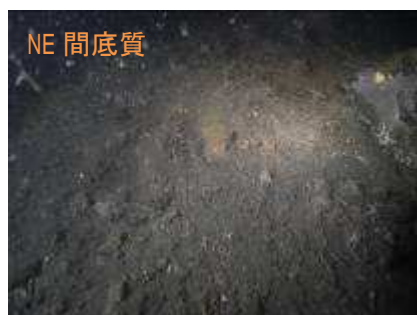
N 底質



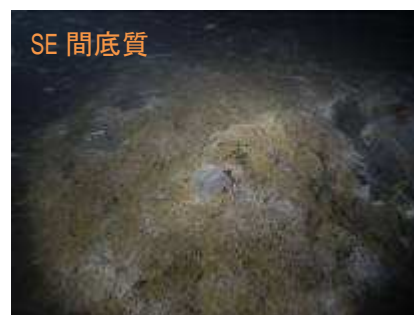
E 底質



S 底質



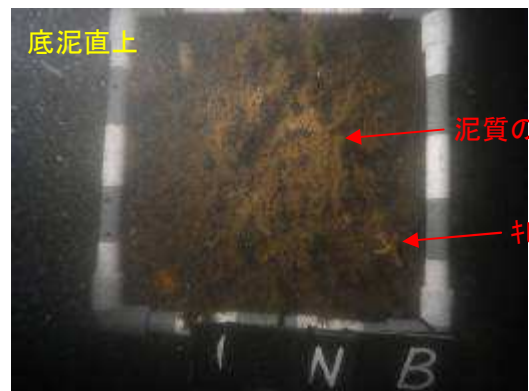
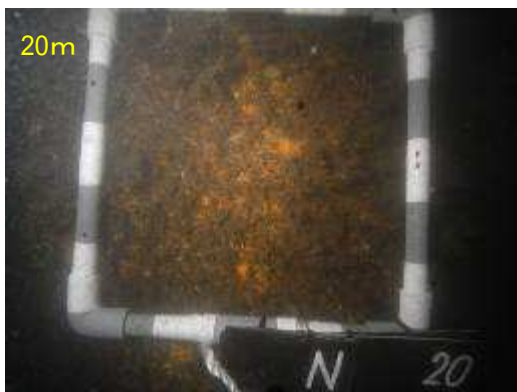
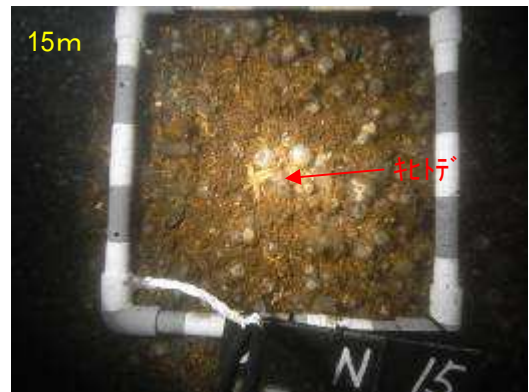
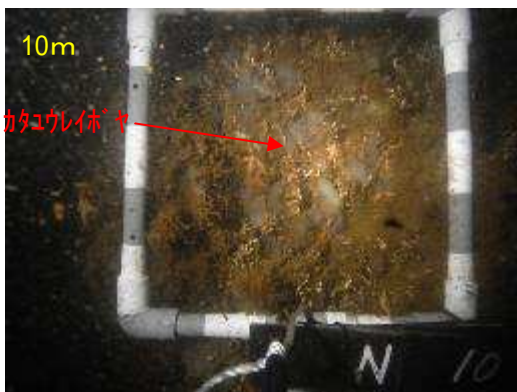
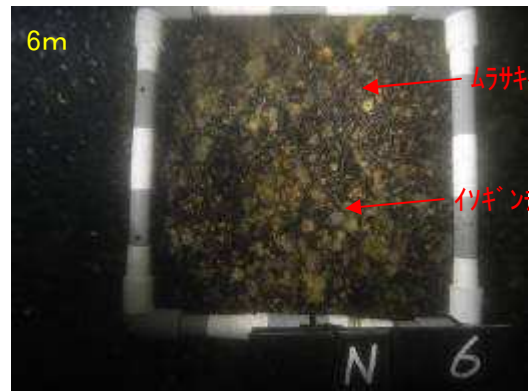
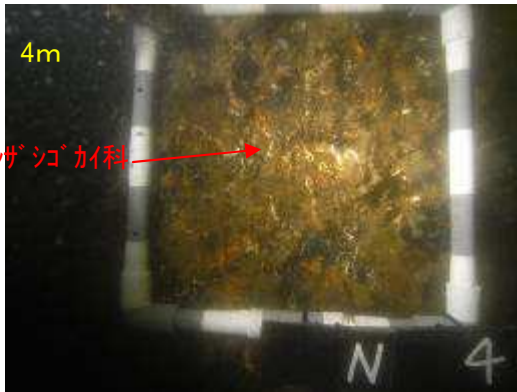
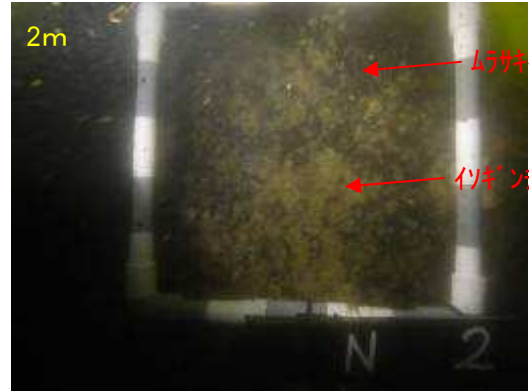
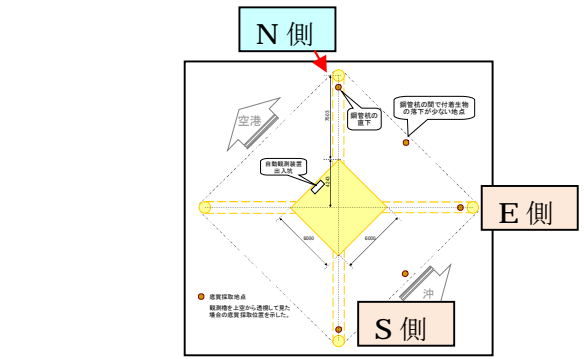
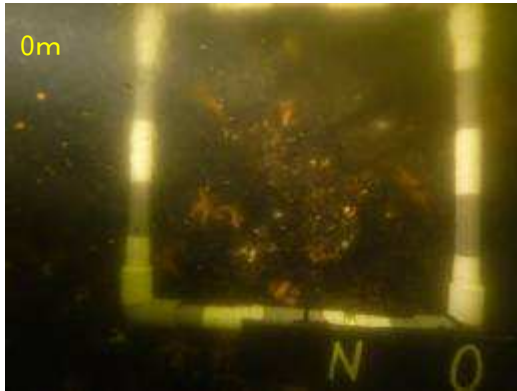
NE 間底質



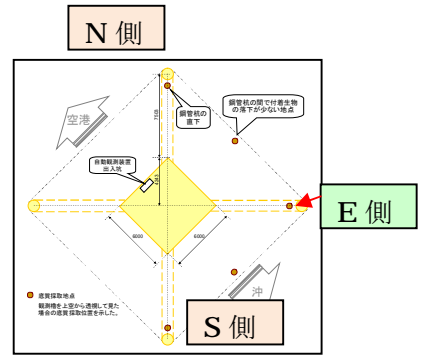
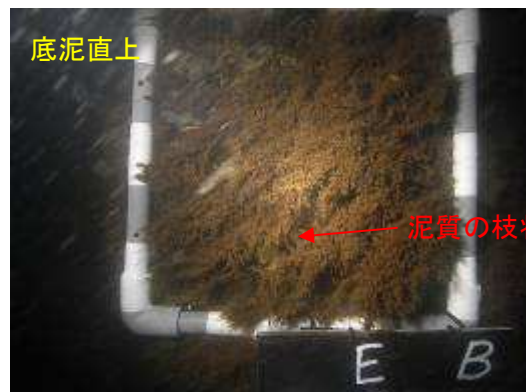
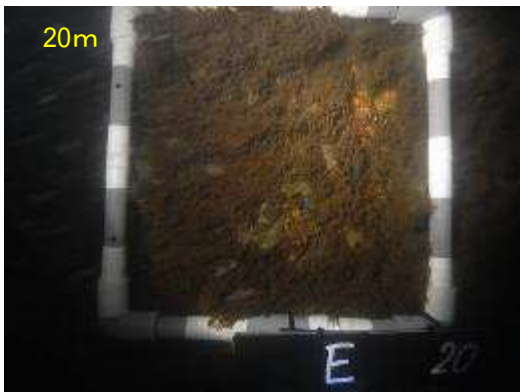
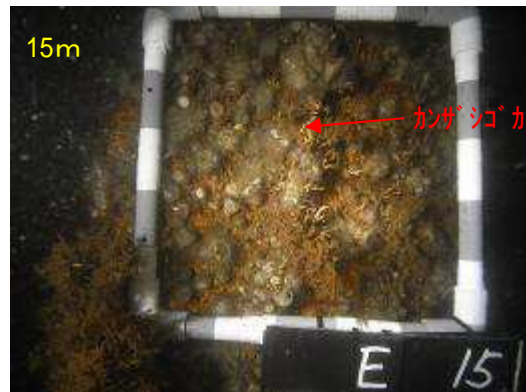
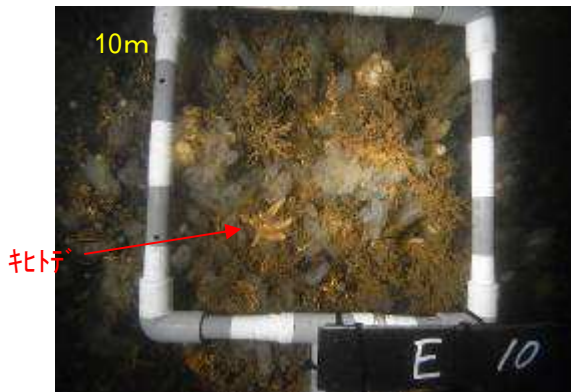
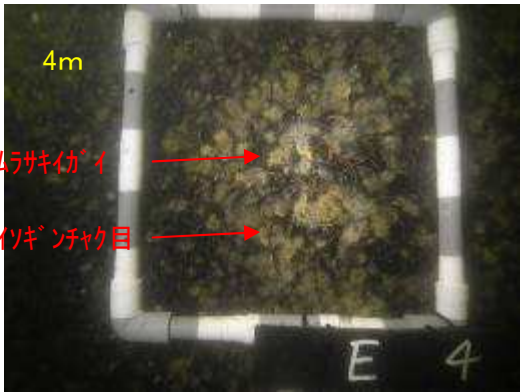
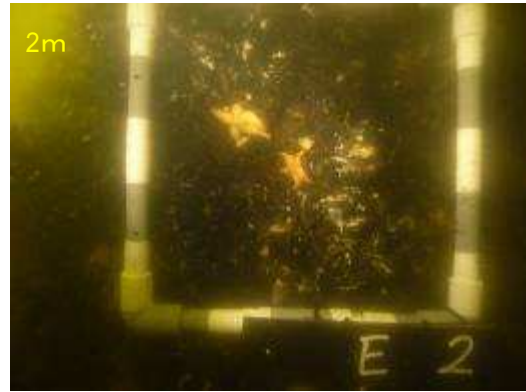
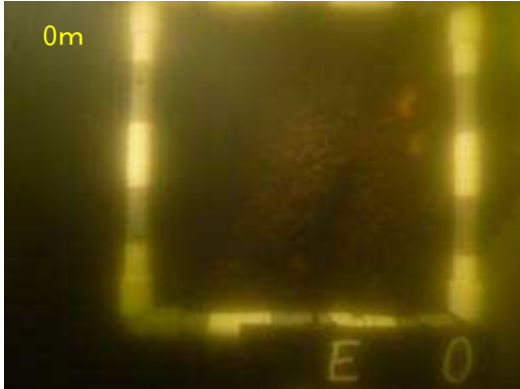
SE 間底質

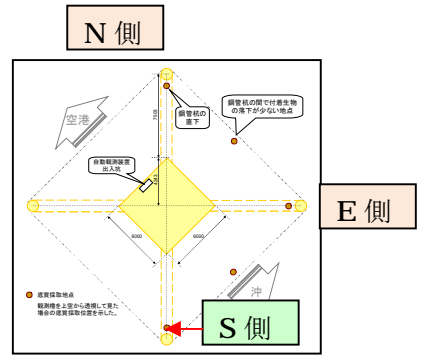
杭の状況

N側



E側





S側

